

あかし せんそう
明石の戦争のこと
し
知ってみよう!

2021.1.19 開設



へ い わ し り ょ う し つ
平和資料室

ぶんか はくぶつ かん かい
文化博物館2階

あかし う くうしゅう
明石が受けた空襲を

どうじ しゃしん たいけんしゃ
当時の写真や体験者の

こえ まじ しょうかい
声を交えて紹介しています。

へいわ かんが
平和について…みんなで考えてみませんか



この明石を
あかし
いつまでも…

明石市

あかし せんそう 明石と戦争



くうしゅう 空襲があったのはいつのこと？

あかし さいしよ くうしゅう
明石への最初の空襲は、1945年（昭和20年）1月19日でした。
ぜんこく かくち くん くうしゅう ばげ たいへいようせんそう まつき
全国各地で、アメリカ軍の空襲が激しくなった太平洋戦争の末期のことです。

くうしゅう 空襲って？

こうじょう しせつ ひこうき ばくだん お
工場や施設をねらって、飛行機から爆弾が落
とされたり、銃で攻撃されたりして、暮らして
いる人が被害を受けることなんだ。



80代や90代の
おじいちゃんやおばあちゃんが
子どものときに戦争があったんだ。



あかし なぜ明石がねらわれたの？

あかし せんとうき つく かわさき こうくうき こうじょう
明石には、戦闘機を造っていた川崎航空機工場
があり、その工場を標的とした攻撃が一番最初
の空襲でした。その後の空襲では、近くにある
あかし こうえん じゅうたくち ひがい う
明石公園や住宅地も被害を受けました。

こんなに多くの方が
亡くなったんだね…



かい くうしゅう あかし 6回の空襲が明石に

けんない ばんめ ひがい きぼ にん ぎせい
県内2番目の被害規模 1560人が犠牲に

1945年（昭和20年）、あかし かい
明石市では、6回にわたる
くうしゅう ひょうごけんない ばんめ おお にん
空襲があり、兵庫県内では2番目に多い1560人
(ゆくえふめいしゃ にん ぎせい
(行方不明者64人)が犠牲になりました。

また、市内の約8割の家屋が被害を受けるなど、
おお とうと いのち たいせつ ざいさん うしな
多くの尊い命と、大切な財産が失われました。



さんやうでんしゃ ひさい
山陽電車の被災

にしんまち あかしやりょうこうじょう ばくだん お にん
西新町にあった明石車両工場に爆弾が落とされ、31人が
ぎせい りやういじょう しやりょう ぜんしやう
犠牲に。また、20両以上の車両が全焼しました。

回	爆撃月日	死者 (人)	被害家屋 (戸)
1	1月19日	327	684
2	6月9日	656	1861
3	6月22日	61	548
4	6月26日	149	1450
5	7月7日	367	9179
6	7月28日	-	-
合計		1560	13722

兵庫県内
川崎航空
被害を受

明石公園
爆弾が落
空襲とな

明石の市
一面焼け

※死者には行方不明者も含む。被害家屋は
全焼・全壊、半焼・半壊戸数の合計。

7月28日は明石川水管橋が破壊された。

※被害状況などは総務省ホームページより抜粋

戦時下の暮らし

戦争が長期化するにつれ、国内の物資が不足し始め、一般家庭の生活用品も統制下におかれました。お米やみそなどの食べ物や、パンツや石けんといった日用品も割り当てて配られる「配給制」となりました。

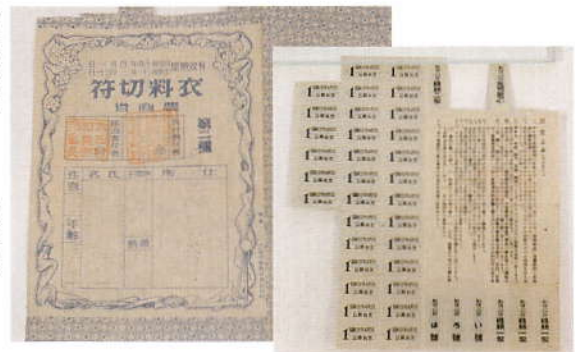
学校では、運動場を畑にして麦や豆が植えられました。明石公園内の平らな場所も畑となり、池にはお米が植えられました。野球場は全面芋畑となっていました。

また、軍需品の生産を優先するために、家庭にある鍋などの鉄製の生活用品やお寺の鐘などは国に供出しなければならないほどでした。



空襲後の樽屋町周辺
旧明石警察署などコンクリート造りの建物以外は焼け落ち、空襲の激しさを物語っています。

配給に使用された「衣料切符」



衣料切符の裏面。購入物品に応じて必要な点数が決められていた。

犠牲者の慰霊のために

明石市内、5か所（中崎・林・大久保・魚住・二見）にある「忠魂碑」や「慰霊碑」の前では、毎年、終戦記念日の8月15日に追悼式を行っています。



中崎（中崎公会堂前）



林（林神社）

※林は、近隣住民の犠牲者を含め慰霊した「忠魂慰霊碑」です。



大久保（住吉神社）



魚住
（魚住市民センター）



二見（御厨神社）



毎年行われる追悼式
（魚住・2020年8月15日撮影）

最初の本格的な空襲。当時、機工場が和坂周辺にあり、けた。

に避難した人々の上にもとされ、犠牲者が最も多かった。

街地に標的が移され、野原となった。

襲当時の明石市
昭和19年4月1日時点
口／8万1544人
世帯／1万7477世帯

文化博物館に行ってみよう



※この資料は平和資料室パネル展示から抜粋しています

平和資料室開設にあたって

太平洋戦争が終わり、既に75年以上の月日が経ちました。戦災を経験された方々や当時の状況を想起させる建物などが少なくなり、記憶と記録の風化が懸念されています。

私たちの明石市も大きな被害を受けました。戦争の悲惨さや戦災の痛ましさを、平和の尊さを次の世代につないでいく場として、明石市立文化博物館の中に「平和資料室」を開設しました。

ふるさと明石で起こった戦争の事実を明石市民として記憶を共有し、子どもたちに伝えていく場として活用いただければ幸いです。

2021年1月19日 明石市

てんし ないよう 展示内容

くうしゅう あと
空襲の跡をたどる
しゃしん おお
写真と大きな地図(2m×5m)で紹介
しょうかい



せんそう たいけんしゃ
戦争体験者のお話



たなばた ねが
七夏の願い～明石空襲～
まんがと実写ドラマで紹介

どうが しょうえい
動画の上映
せんそうたいけんしゃ
戦争体験者の声



明石市立文化博物館

住所／明石市上ノ丸2-13-1

開館時間／9:30～18:30
(入館は18:00まで)

休館日／月曜日(休日、特別展期間中を除く)、年末年始

TEL:078-918-5400 FAX:078-918-5409

平和資料室(2階)／観覧無料

常設展・特別展も中学生まで観覧無料

シニアいきいきパスポート提示で観覧無料

平和資料室に関する お問い合わせ

人権推進課(明石市役所内)

TEL:078-918-5058

FAX:078-918-5131

